

IJCAD Electrical 2024

運用マニュアル



IntelliJapan

目次

1. 運用マニュアル	1
1. IJCAD Electrical ができること	1
AutoCAD Electrical との互換性について	1
IJCAD Electrical LT と IJCAD Electrical PRO の違いについて	1
2. インストール時の注意点	4
インストールユーザー以外で使用する場合	4
3. CAD 使用時の注意点	5
確認されている不具合	5
対策	5
発生した場合の回避策	7
4. IJCAD Electrical の仕様	8
IJCAD Electrical 使用上の注意	8

改訂履歴

2024.06.03 IJCAD Electrical 2024 運用マニュアル 初版発行

1. 運用マニュアル

1. IJCAD Electrical でできること

AutoCAD Electrical との互換性について

IJCAD Electrical は AutoCAD Electrical の互換製品ではありません。

IJCAD Electrical は IJCAD に電気設計機能を追加した CAD になりますので
ご注意ください。

IJCAD Electrical LT と IJCAD Electrical PRO の違いについて

IJCAD Electrical PRO では IJCAD Electrical に備わっているすべての機能が
使用できます。IJCAD Electrical LT ではデータベースに関連する機能以外を使用する
ことができます。

IJCAD Electrical LT と IJCAD Electrical PRO では相互にデータのやり取りを
行うことができます。

詳しい双方の機能内容は以下の表に記述します。

機能	LT	PRO
プロジェクトマネージャー	○	○
図枠配置	○	○
分割線編集	○	○
DB マネージャー表示	○ (外形図のみ)	○
シンボル配置	○	○
シンボル移動	○	○

シンボル複写	○	○
シンボル置換	○	○
フリーシンボル	○	○
端子台情報設定	○	○
属性編集	○	○
一括属性編集	○	○
パターンボックス	○	○
スペックホルダ	○	○
パターン配置	○	○
配線	○	○
複数配線	○	○
配線延長	○	○
線番配置	○	○
ケーブル定義	○	○
ケーブル製作図	○	○
ツイスト線作成	○	○
シールド作成	○	○
ジャンプシンボル設定	○	○
線番編集	○	○
複相線番	○	○
一括線番削除	○	○
クロスリファレンス	○	○
スクート	○	○

ロケーションボックス	○	○
カタログ	○	○
図枠配置作成	○	○
表題欄作成	○	○
シンボル作成	○	○
帳票マスタ作成	○ (部品表、部品集計 表のみ)	○
接点表マスタ作成	○	○
プロジェクトの表題欄を更新	○	○
一括線番配置	○	○
線番削除	○	○
線番リセット	○	○
XREFLINK 更新	×	○
帳票出力	○ (部品表、部品集計 表のみ)	○
帳票編集	○ (部品表、部品集計 表のみ)	○
接点表作成	○	○
整合性チェック	×	○
ダイナミックブロック関連	×	○
ソリッド関連	×	○
レンダリング関連	×	○

カスタマイズ機能 (VBA/Lisp/SDS/GRX/DLL の読み込み)	○	○
拡張ツールおよび Plus ツール	○	○

2. インストール時の注意点

インストールユーザー以外で使用する場合

現在、IJCAD Electrical を、インストールしたユーザーアカウント以外で使うことができない状態になっています。お手数ですが、インストールしたユーザーでご使用ください。

3. CAD 使用時の注意点

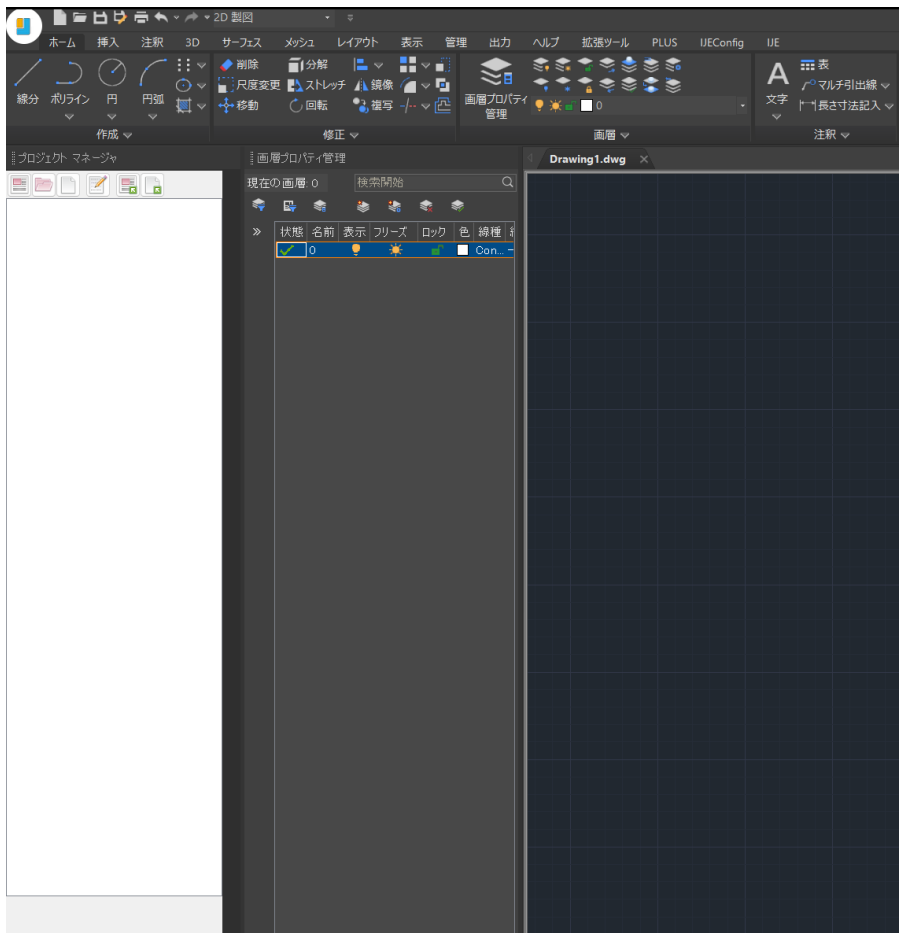
確認されている不具合

IJCAD Electrical 2024 において、「画層プロパティパレットなどの IJCAD 汎用機能のパレットを、[自動的に隠す]オプションで作図画面の左端にドッキングした場合、次回の CAD 起動時にフリーズしてしまう不具合」が確認されています。

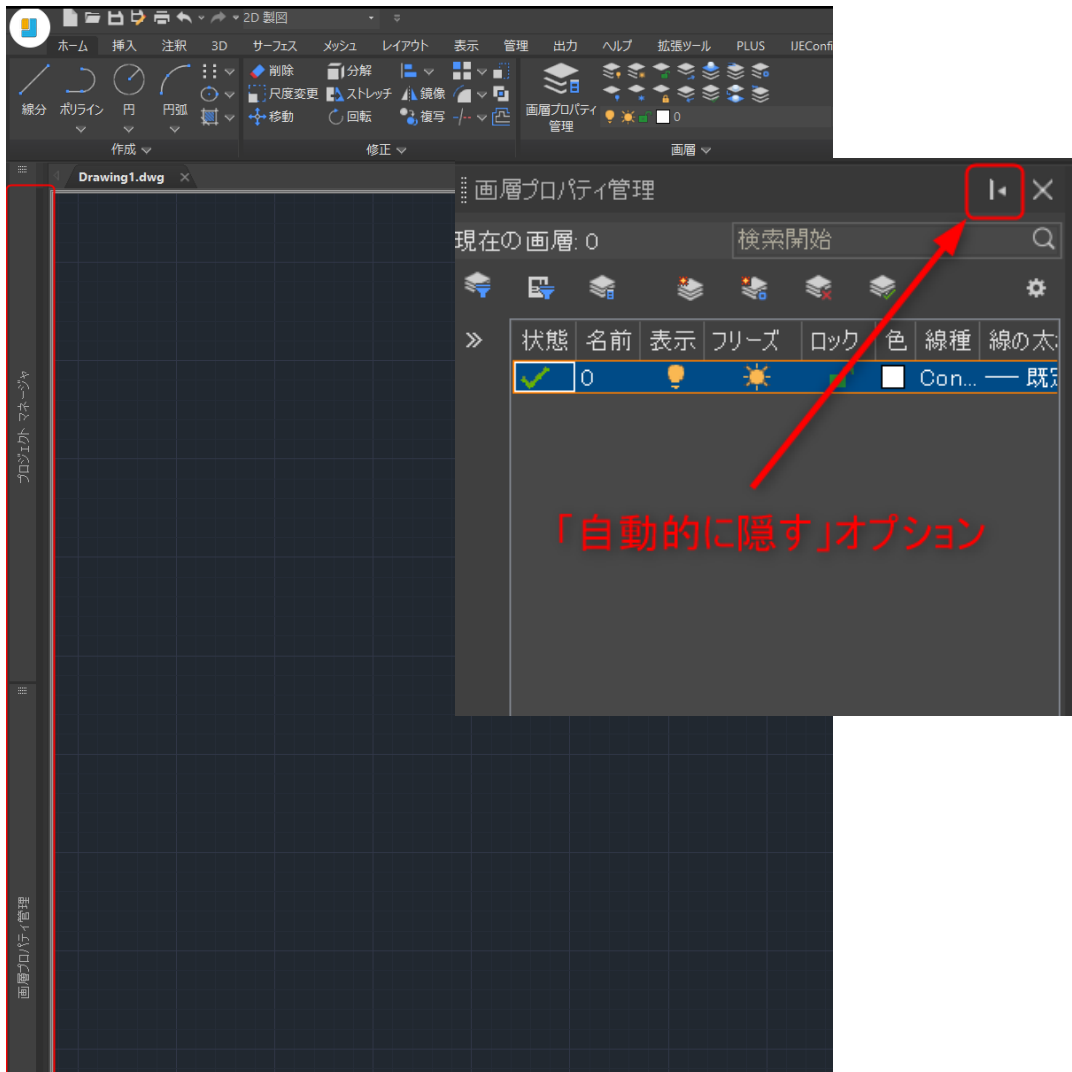
対策

IJCAD 汎用機能のパレットを作図画面上に表示させる場合は、[自動的に隠す]オプションを使用しないか、作図画面の左端にドッキングしないようにします。

<OK> [自動的に隠す]オプションを使用せず、作図画面上にパレットを表示させたままにする



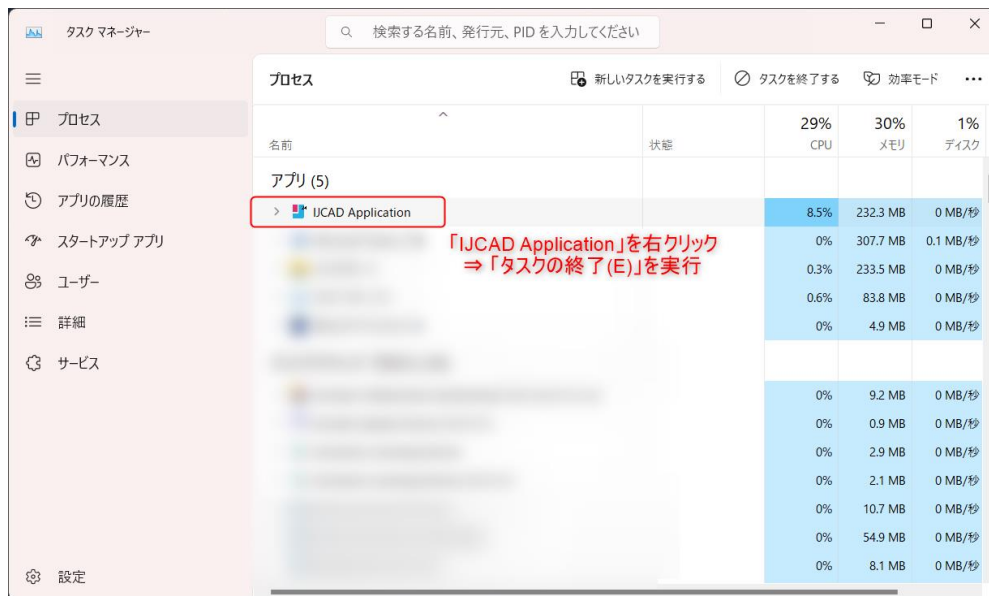
<NG> IJCAD 汎用機能のパレットを、[自動的に隠す]オプションで作図画面の左端にドッキングする（次回のCAD起動時にフリーズ）



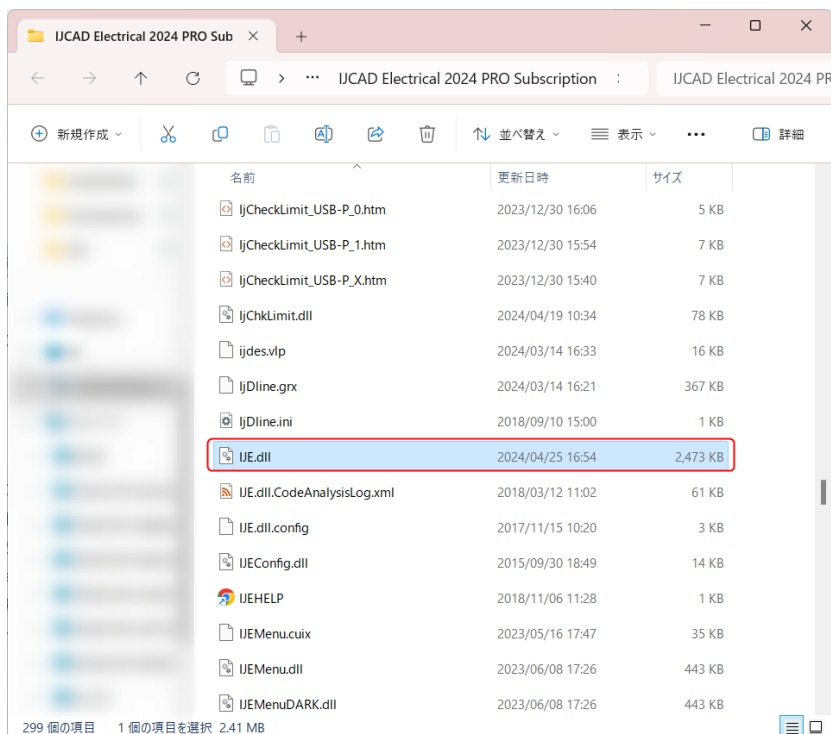
フリーズが発生した場合の回避策

下記手順を実行します。

- (1) タスクマネージャーを開き、[プロセス] > [アプリ] 欄から「IJCAD Application」を右クリック
→ 「タスクの終了(E)」を実行し、フリーズした CAD を終了させる。



- (2) エクスプローラにて、IJCAD Electrical 2024 のインストールパスを開く。
- (3) 「IJE.dll」ファイルを、「IJE.dll_」などにリネーム、または一旦別のフォルダへ移動させる。



- (4) IJCAD Electrical 2024 を起動し、該当の IJCAD 汎用機能パレットの [自動的に隠す] オプションを解除した後、CAD を閉じる。
- (5) (3) でリネーム、または移動した「IJE.dll」ファイルを元に戻す。

4. IJCAD Electrical の仕様

IJCAD Electrical 使用上の注意

プロジェクトの移動について

IJCAD Electrical でプロジェクトマネージャーに表示されているフォルダを別のフォルダに移動した場合、プロジェクトマネージャー上から表示されなくなってしまいます。

もし移動される場合は、移動後のフォルダを「プロジェクトをインポート」してご使用ください。

プロジェクトの名前変更について

IJCAD Electrical でプロジェクトマネージャーに表示されているフォルダの名前を変更した場合、データベース上と差異が発生してしまいます。

プロジェクトマネージャー上では名前変更前のファイル名が表示されるため、ページが読み込めなくなってしまいます。

ファイルの名前を変更する場合は、プロジェクトマネージャー上で、右クリックメニューの「名前変更」を使用してください。

また、直接フォルダ名を変更した場合、変更したフォルダを「プロジェクトをインポート」してご使用ください。

他 CAD での DWG 読み込みについて

IJCAD Electrical で作成した DWG ファイルを他の CAD で変更し保存した場合、IJCAD Electrical 上のデータベースと整合性が取れなくなる場合がございます。

他 CAD で IJCAD Electrical で作成した DWG ファイルを読み込む場合、ファイルをコピーして使用し、IJCAD Electrical で作成した DWG ファイルは変更しないようお願いいたします。

IJCAD Electrical 2023 との互換性について

IJCAD Electrical 2024 では IJCAD Electrical 2023 で作成された図面を読み込み、使用することができます。しかし、IJCAD Electrical 2024 で作成された図面は IJCAD Electrical 2023 では読み込めませんので、ご注意ください。

■ シンボルや図枠、帳票などのデータ図面の互換性について

IJCAD Electrical 2024 において、AutoCAD 2013 形式で保存されたシンボルなどのデータ図面を開いた場合に、属性の表示位置がずれてしまうことがあります。その場合、IJCAD Electrical の図面変換ツールを用いて、AutoCAD 2018 形式に保存し直すことで解消されます。

図面変換ツールの詳細については、「IJCAD_Electrical_図面変換ツールマニュアル.pdf」を別途ご参照ください。

IJE タブと IJEConfig タブのコマンドについて

IJE タブに存在するコマンドは基本的に**プロジェクトマネージャー内でページ設定された.DWG ファイルでのみ**使用できます。通常の.DWG ファイルではコマンドが動作しないのでご注意ください。

また、IJEConfig コマンドは基本的に**通常の.DWG ファイルでしか使用できません**。ページ設定された.DWG ファイルでは使用できませんのでご注意ください。

コピー・貼り付け・削除

線番の重複、属性が影響するため、IJCAD Electrical 専用のコピー・貼り付け・削除が存在します。(ExtCopyClip, MoveSymbol, SymbolDelete コマンド)

コピー・貼り付け・削除が必要な場合は、IJCAD の基本機能 (COPY, PASTE, ERASE コマンド等) ではなく、IJCAD Electrical 専用のコピー・貼り付け・削除をお使いください。

なお、ショートカットキーの Ctrl+C、Ctrl+V、Delete キーには IJCAD Electrical 専用のコピー・貼り付け・削除が設定されています。

一括処理について

一括属性編集や一括線番配置等、自動処理を行う際には、一度全図面保存を行ってから実行してください。

図面が保存されていない状態で実行すると、保存されていない内容に関しては処理がされず、整合性が取れなくなる可能性があります。

オブジェクトスナップについて

オブジェクトスナップを付けたまま作図をすると、想定していない場所をスナップし、作図してしまう場合があります。

オブジェクトスナップ・スナップモードを切り、グリップスナップの切り替えで作図を行うことをお勧めいたします。

配線と線分の違いについて

IJCAD Electrical では配線として設定された線分に対してのみ線番配置やシンボルの隠線処理を行うことができます。

配線を作成する際は、通常の線分コマンド (LINE) ではなく、配線コマンド (InsertSegment) をご使用ください。

線番配置時とシンボル配置時のコマンドラインでの表記について

IJCAD Electrical では線番・シンボルをブロックとして表現しています。その関係で、既に同じ名称のブロックが定義済みの場合に、「ブロック ○○○○○○○ の重複する定義が無視されました。」というメッセージがコマンドラインに表示される場合がありますが、動作自体に支障はありません。